

### 第3話 漫才台本を作ろう！

父親ががんで亡くなるという話をどうやって漫才風に紹介するのか。そして、誰にすすめるのか。「この本を読むと、時代に合わない生き方のつらさを感じられて、慰められるんですよ。」とはK山の話。そんな人もいるのかもと考え直し、台本を書こうとしたが一向に進まない。

元祖爆笑王の『漫才入門』によると、展開は「あるある」ネタから「あるなし」につなげて、最後は「なしなし」で落とすということだった。また、コンビは元気よく舞台中央に出て来て、コンビ名を名乗ってあいさつをするのが基本ということだった。

しかし、K山は「かなんなあ。恥ずかしいからそれだけは出来ません。」とかたくなに拒否。ってことは漫才は無理ってことですか？

これで野望から二歩遠ざかった！大丈夫か！ 続きは次回